

主催：科研プロジェクト「アセアンにおける人身取引対策」/人身取引研究会

共催：明治学院大学国際学部附属研究所
共同研究『企業の社会的責任と市民の社会的関与の研究』

国際シンポジウム

メコン地域と日本をつなぐ人身取引問題を考える シーフード・サプライチェーン、“被害者”支援と当事者運動、そして私たちの役割

2017年3月24日(金) 13:00—17:30

明治学院大学白金キャンパス 2号館 2302教室
(<http://www.meijigakuin.ac.jp/access/index.html>)

アセアン地域、とくにメコン地域では性的搾取、労働搾取などさまざまな形態の人身取引が発生しており、国を超えた労働搾取型の漁船での人身取引と、“被害者”の人身取引後の生活再建について考えるシンポジウムを開催します。

とくに近年はインドネシアのアンボン諸島などでのタイ、ミャンマー、カンボジアなどの乗組員を乗せたタイ船籍の漁船の乱獲や強制労働が問題になっています。ミャンマーやカンボジア、ラオスらの移住労働者とその家族の支援、インドネシア沖からの帰国支援から生活再建支援を担ってきたNGOのLabor Rights Promotion Networkのソンボン氏を招き、何が必要とされているか、エンドユーザーである私たち=消費者の役割を考えます。

またタイ、カンボジアでは、外国で人身取引被害に遭って帰国した女性たちの生活再建など社会再統合を促進する自助活動が展開されています。帰国後の支援には何が必要か。当事者の視点、支援者の視点、国際協力の視点を交えて社会再統合支援も議論します。この議論には、帰国したタイの元漁船労働者らが組織した労働組合活動も含まれます。

<開会の挨拶と趣旨説明>

「メコン地域での人身取引動向とその対策—“被害者”認知と社会再統合支援」

齋藤百合子(明治学院大学国際学部准教授)

<第1セッション> シーフード・サプライチェーンにおける人身取引問題

- ◆基調報告「タイ、ミャンマー、カンボジアの漁船労働者の人身取引問題とその後—シーフード・サプライチェーンと先進国のエンドユーザーの連携は可能か」
ソンボン・サケーオ(Labour Rights Promotion Network Foundation代表)
- ◆報告「タイ漁業における人身取引研究と国際的な動向から」
坪田建明(アジア経済研究所研究員)
- ◆報告「人身取引課題と市民的関与—どのように伝えるか」
小野行雄(NGO草の根援助運動事務局長、高校教員、法政大学兼任講師)
- ◆パネルディスカッション 司会：齋藤百合子(明治学院大学)
ソンボン・サケーオ(LPN)、坪田建明(アジア経済研究所)、
小野行雄(NGO草の根援助運動事務局長、高校教員、法政大学兼任講師)

<第2セッション> 元“被害者”の社会再統合の課題

- ◆報告「タイに帰国した被害当事者のピアサポート活動」
パタピマット・ウィーチョクチャセーン(Live Our Lives コーディネーター)
- ◆報告「人身取引被害者支援者の能力強化活動：タイJICAプロジェクトの事例から」
百生詩緒子(「タイ国メコン地域人身取引被害者支援能力向上プロジェクト」
チーフアドバイザー、JICA専門家)
- ◆報告「宿主国における人身取引、DV被害サバイバーの生活再建について」
新倉久乃(特別活動法人女性の家サーラー理事、ミャンマー人身取引対策事業短期専門家)
- ◆パネルディスカッション 司会：齋藤百合子(明治学院大学)
パタピマット・ウィーチョクチャセーン(Live Our Lives)、
百生詩緒子(国際協力機構長期専門家)、新倉久乃(特別活動法人女性の家サーラー理事)

閉会

* 入場無料・申し込み不要
No Reservation Required

* 報告は日本語とタイ語で行われます(逐次通訳あり)
The lecture will be conducted in Japanese and Thai.

* 問い合わせ先：国際学部附属研究所 TEL. 045-863-2267 (受付時間：平日10時-17時)